

平成29年度

単位施策評価表

所属 19400000

生活環境部 人権・男女

施策	7202 男女共同参画の推進							
区分	妥当性	妥当	コスト削減の余地	無	受益者負担	適正		
	上位貢献度	有効	類似事業の有無	無	成果向上の余地	有		
対象	市民							
施策が目指す姿	男女共同参画を推進するため、男女共同参画プランの推進、男女共生大学の開催、男女共同参画の情報提供の充実等を図る。							
成果指標	研修会等出席者数・・・5年間（平成25年度～平成29年度）で600人（現状値550人）							
目 標 達 成 状 況			平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	成果指標1 [人]	予定	560.00	570.00	580.00	590.00	600.00	
		実績	601.00	647.00	1,285.00	811.00	1,106.00	
	成果指標2 []	予定						
		実績						
	成果指標3 []	単位コスト						
		予定						
	成果指標4 []	実績						
		単位コスト						
	トータルコスト (千円)	予定	20,503	20,444	20,539	23,577	25,512	
実績		19,980	20,089	20,115	18,651	27,590		
内 部 評 価	貢献度	研修会等を通じ男女共同参画の意識を高めることが必要であり、本単位施策の目標達成による貢献度は高い						
	達成状況	研修会出席者数の目標値600人を上回る出席者数であった。						
	課題	講座や研修会の開催方法やPRの仕方など工夫し、男女共同参画に取り組む団体との連携を図り、事業を進める必要がある。						
	取組方針	幅広い年齢層の方に「男女共同参画社会づくり」を推進するため、講座やつどい等内容を検討しつつ開催回数の増加に取り組む。						
外 部 評 価	<p>「とちぎ男女共同参画のつどい」や「男女共生大学」等、参加してみると、内容もいろいろ工夫されており、評価できる。ただ、参加者に関しては少ないように思える。これら男女共同参画の取り組みは、重要であると思われるので、参加者を増やす工夫をお願いするとともに、引き続き事業の継続をしていただきたい。</p> <p>合併になり女性団体が多く存在するが、横の連携が少ないように感じるので、意見交換の機会を設けることを提案したい。</p> <p>また、来年、佐野市では全国女性会議が開催されるとのことであるが、本市においても全国的なものを誘致することで、男女共同参画を進めていくことも良いと思われる。</p>							
単 位 施 策 達 成 の た め の 事 務 事 業	事業コード	名 称				トータルコスト(千円)	達成度	
	106101	男女共同参画推進事業費				9,920	100	
	106301	男女共同参画プラン管理事業費				3,869	100	
	106601	男女共同参画プラン第2期計画策定事業費				9,822	100	
	106201	男女共生大学開催事業費				3,979	72	

平成29年度 単位 施策評価表 補表

施策	7202 男女共同参画の推進		
区分	妥当性	妥当	男女共同参画の推進施策の実施は、市の男女共同参画推進条例で「市の責務」とされている。
	コスト削減の余地	無	コストの削減にはかなり取り組んでおり、削減は厳しい状況である。
	受益者負担	適正	受益者は、男女共生大学の受講料(全8回で、一般1,000円、特別500円)のみで、額は適正である。
	上位貢献度	有効	上位施策の実現には、研修会等による意識の啓発の積み重ねが重要であるため有効である。
	類似事業の有無	無	類似事業はない。
	成果向上の余地	有	幅広い年齢層の方に「男女共同参画」意識を啓発するため、講座やつどい等の内容を検討する。
内部評価 【H29年度分】	貢献度	研修会等を通じ男女共同参画の意識を高めることが必要であり、本単位施策の目標達成による貢献度は高い。	
	達成状況	研修会出席者数の目標値600人を上回る出席者数であった。	
	課題	講座や研修会の開催方法やPRの仕方などを工夫し、男女共同参画に取り組む団体との連携を図り、事業を進める必要がある。	
	取組方針	幅広い年齢層の方に「男女共同参画社会づくり」を推進するため、講座やつどい等内容を検討しつつ開催回数の増加に取り組む。	
内部評価 【前期5年分】	貢献度	研修、講座等を通じ、男女共同参画の理解を促すことが必要であり、本単位施策の目標達成による貢献度は高い。	
	達成状況	各年度、研修会出席者数の目標値を上回る出席者数であった。	
	課題	幅広い年齢層の方に「男女共同参画社会づくり」を推進するため、講座や研修会の内容を検討する。	
	取組方針	講座や研修会の内容を検討し、幅広い年齢層の方への出席を促すため開催方法やPRの仕方を工夫する。	